

しごと フォーカス

言語聴覚士

小池京子さん(50)

国立病院機構 東京病院 統括
診療部 リハビリテーション科
(東京都清瀬市)



小池京子さん=どちらも12日、東京都清瀬市



訓練は絵がかいてある資料を見せながら進めます

コミュニケーション回復に力

あゆみ

1974年、東京都生まれ

- 小学校時代
2年生からスイミングスクールに通っていた。背泳ぎが得意だった
- 中学校時代
バレーボール部に入った。本もよく読んでいた。看護師が書いた作品を読んだことをきっかけに、医療関係の仕事に興味を持つ
- 高校時代
日本大学鶴ヶ丘高校に進学。1年生の時に、野球部が全国高校野球選手権大会に出場した。阪神甲子園球場(兵庫県)で応援したのは「楽しい思い出」
- 大学時代
日本大学文理学部心理学科に進学。地域の手話サークルに参加した時に、コミュニケーションに困っている人のために力を尽くす仕事に興味を持つ
- 社会人
大学卒業後、東京学芸大学の非常勤職員として1年働く。言語聴覚士を目指すために専門学校に進学。2000年に実施された言語聴覚士の試験に合格。複数の病院に勤める
- 2020年
国立病院機構 東京病院に勤め始める

言語聴覚士は、言葉によるコミュニケーションに問題がある人を支援する専門職です。病気や事故で言葉をうまく話せなくなった人や、正しく記憶ができなくなった人に、回復を目指すための訓練をします。病気が原因で食べ物が飲み込みにくくなった人の訓練を担当することもあります。

東京病院には、8人の言語聴覚士がいます。その中で、小池さんは言語聴覚士長として働いています。

患者によって症状は違うので、その人に合った訓練をしなければなりません。

例えば、失語症の患者は、脳梗塞や脳出血などで脳が傷つき、「聞く」「話す」「読む」「書く」の言葉の機能に問題が生じた状態です。相手の話を理解することができない、伝えたい言葉がうまく出てこない、言い間違える、文字や文が読めない、書けない、といった症状が出る場合があります。

患者ごとに違いますが、訓練をする期間はおおむね3〜4カ月です。それぞれ

機能改善へ患者に寄り添う

病院では、医師や看護師たちとも連携し、患者の持つ機能などの改善を目指します。小池さんは「これからは患者さんの気持ちに寄り添っていききたい」と話しています。

ただ、言語聴覚士は、同じリハビリテーションの仕事である理学療法士や作業療法士に比べるとまだ知名度が低いと感じています。

日本言語聴覚士協会は、情報の発信力を入れています。会長の内山量史さんは「言語聴覚士は赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢のコミュニケーションなどにかかわることができ、やりがいのある仕事です。若い人にも興味を持ってもらえたらうれしい」と話しています。

(前田奈津子)

小池さんは以前、重度の失語症の患者を担当しました。その患者は、伝えたいことが思い通りに伝わらないため、いらだつ時もありました。小池さんは文字を紙に書いて示したり、声に出して「こういうこと?」と聞いたりしました。

時間をかけてやりとりするうちに、患者の表情がやわらぎました。小池さんは「わかり合えたと思う、すごうれしかったです」と振り返ります。

なりたい人へ

国家資格取得が必要

言語聴覚士になるには、国家試験に合格して厚生労働大臣の免許を受けなければなりません。

受験をするためには、「文部科学大臣が指定する学校、または都道府県知事が指定する養成所を卒業する」「指定科目を履修した大学卒業者」などの要件があります。

言語聴覚士は1997年に国家資格になりました。資格をもっている人は、2023年3月時点で4万人近くとなっています。活躍の場は、病院、介護施設、学校などです。



コミュニケーションファイル

絵や文字がかいてある資料。患者とコミュニケーションをとりやすくするために使います。

向いている人は?

笑顔で人と話せる

言語聴覚士に向いているのは、次のような強みがある人です。

- ①人と話すのが好き…話すことが多い仕事なので、コミュニケーションをとるのを楽しめることが大切です。
- ②心身ともに健康…患者と長く付き合う仕事。体だけでなく心も元気でないと、相手の気持ちにしっかり向き合えないことも考えられます。
- ③笑顔…言語聴覚士が笑顔だと、患者も相談しやすくなったり、安心したりすることが多いです。